

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

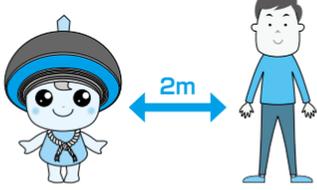
市内の感染症患者の発生状況
患者数(累計) 31人
※9月8日現在

健康づくり課 ☎94-4609

予防対策を続けましょう

感染症のさらなる拡大を防ぐには、私たち一人一人の心掛けが欠かせません。「新しい生活様式」を取り入れながら、基本的な予防対策を継続しましょう。

距離の確保



マスクの着用



手洗い・消毒



小まめな換気



行動の記録



接触確認システムのご利用を

利用が増えることで、感染拡大を防ぐ効果が高まります。自分や大切な人を守るため、積極的なご利用をお願いします※いずれも個人が特定される情報を収集・利用することはありません

県によるLINEコロナお知らせシステム

店舗や施設の感染症対策を記載した「感染防止対策取組書」のQRコードを読み取ると、感染者が同じ施設を利用していた際に、接触の可能性がある場合にLINEメッセージで通知が届きます。



感染防止対策取組書のイメージ

事業者は取組書を掲示することで、対策の内容を分かりやすく伝え、安心して利用してもらうことができます。県ホームページの専用フォームから登録して発行してください。



登録専用フォーム

☎県新型コロナウイルス感染症専門ダイヤル ☎045-285-0536(平日午前9時～午後5時)

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)

スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、過去14日間に感染者と接触した可能性があるかを確認できます。接触が確認された場合は、画面の表示に従い症状の有無などを入力すると、検査の受診などを案内します。下のQRコードからインストールしてご利用ください。



メイン画面イメージ



iOS

Android

シリーズ

Road to OYAMA

現代の大山道

第11回 「現代に続く道」

これまで、8つの主要な大山道のルートを紹介しました。連載を通じ、大山に至るまでの道筋には旅人をもてなす旅籠や茶屋、川を渡るための渡船場などがあり、にぎわっていたことが分かりました。また、浮世絵や海外の有名画家の油絵にも描かれたように文化へ大きな影響を与えたことなど、歴史的な価値を再認識することができました。

大山道の終着地、歴史が息づくまち「伊勢原」

市内には多くの大山道の道標があります。平成24(2012)年時点で113基が把握されており、そのうち102基について存在を確認しています。江戸時代中期に最も多く建てられており、造立年代が分かる市内最古の道標は寛文6(1666)年のものです。明治、大正時代に建てられたものもあります。そして、その多くが地元の自治会や世話役により大切に守られ、歴史を今に伝えていきます。



伊勢原市公式イメージキャラクター クター クルリン



白根中央公園付近にある市内最古の道標

また、大山に向かう参道沿いには今も宿坊(先導師旅館。一般の人も食事や宿泊ができます)があり、昔ながらの白い行衣を着た大山詣りの人々が訪れます。

道は続くよ、伊勢原大山へ

今、本市を取り巻く「道」の状況は大きく変化しています。新東名高速道路の伊勢原ジャンクションが昨年、伊勢原大山インターチェンジが今年開通しました。さらに、圏央道や新東名高速道路と接続する厚木秦野道路(国道246号バイパス)も建設が進められています。こうした新しい交通ネットワークは、経済や文化、観光面で大きな効果が期待されます。



新東名高速道路から見える大山(NEXCO中日本提供)

「大山詣り」のストーリーが日本遺産に認定され、その眺望がミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで紹介されたほか、東京オリンピック聖火リレーの特殊区間に選ばれるなど、大山は国内外から注目されています。

周囲の様子は当時と変わりましたが、大山道は現代、そして未来へと続き、多くの人々によって新たなストーリーが紡がれていくことでしょう。

◇「シリーズ Road to OYAMA-現代の大山道-」は今回で終了します

ほっと

ニュース

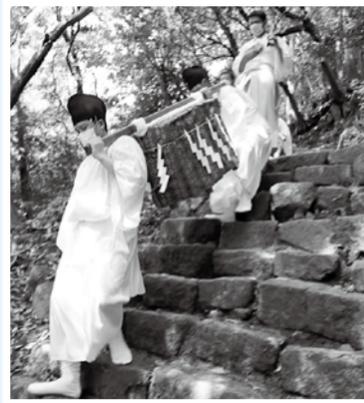
HOT NEWS

紙芝居「ワシの育て子」が寄贈されました

市内を中心に紙芝居や昔話などの読み聞かせを行っているボランティア団体「おはなしばる〜ん」から、大山寺縁起を題材とした紙芝居「ワシの育て子」39冊を寄贈いただきました。



同団体はこれまでも「乙女地蔵」「日向薬師の太太鼓」といった伊勢原の民話を題材に紙芝居を作成し、市の歴史を分かりやすく伝える活動をしています。頂いた紙芝居は図書館や小学校、幼稚園などで活用していきます。(8月4日)



大山阿夫利神社秋季例大祭

夏山の無事を感謝し、秋の訪れを告げる秋季例大祭が大山で開催されました。感染症の拡大を防ぐため、今年は神輿の代わりに唐櫃を使い、氏子らがお下り・お上りを行いました。(8月27日～29日)

スターライトシネマ

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内企業が地域に活気を取り戻そうと、総合運動公園でドライブインシアターを開催。地元飲食店による食事の販売も行われ、800人あまりが夜空の下で映画鑑賞を楽しみました。(9月1日～4日)

